

第14回西陣伝統文化祭「千両ヶ辻」特別講演会

# 埋もれた聚楽第の遺構を 地表から探る

—考古学・地震工学の混成チームが謎の城郭に迫る—

聚楽第（じゅらくだい）は豊臣秀吉が造営した大規模な城郭でしたが、その構造の詳細はいまだに明らかとなっていません。

平成27年10月から28年1月にかけて、考古学・地震工学の研究者による調査チームが「表面波探査」という方法により聚楽第の堀跡の位置を調査したところ、多くの地点で新たに堀跡を確認し、これまでよりもはるかに詳細に聚楽第の遺構を復元することができました。

今回の講演会では、聚楽第跡についての最新の研究成果をお話ししていただきます。

★講師

古川 匠 氏（京都府教育庁文化財保護課）

★日時 平成28年9月22日（祝） 午前11時～・午後2時～  
（2回開催 各回とも約1時間 内容は同じ）

★場所 京都市考古資料館 3階

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1  
市バス「今出川大宮」下車すぐ  
市バス「堀川今出川」下車 西へ徒歩約2分

★定員 60名（各回とも当日先着順）

★参加費 無料

★問合せ先 京都市考古資料館（電話：075-432-3245）